

アセットマネジメントの グローバル・フロンティアをつかむ！

Digital × Intangible × Sustainable

京都国際ワークショップ



2026年夏、国際標準化機構ISOの専門委員会TC251の全体会議に参加するため世界各地のアセットマネジメントのリーダーが京都に集まります。

いま、ISO/TC251では、これからのアセットマネジメントの進むべき方向として、「デジタル」「インタンジブル(無形)」「サステイナブル(持続可能)」の3つのコンセプトを掲げ、新しい領域に乗り出そうとしています。それらはすべて、これからのインフラマネジメントにも影響するものです。

本ワークショップは、TC251の全体会議にあわせて京都に集う6か国のリーダー達に、上記の3つのコンセプトに関係する各国の最新の取組を紹介してもらい、参加者同士の交流を行うことを目的として、(一社)日本アセットマネジメント協会が企画・実施するものです。時代を先取りしたアセットマネジメントの最先端に触れる絶好の機会ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2026年7月2日(木)13時10分～17時
受付開始 12時15分

会場：京都経済センター 7階会議室
京都市下京区四条通室町東入
函谷鉾町78番地(右の地図参照)
<https://kyoto-kc.jp/>

言語：英語(日本語同時通訳が行われます)

参加費：

(一社)日本アセットマネジメント協会
会員 11,000円(税込)
非会員 22,000円(税込)



https://area34.smp.ne.jp/area/card/35282/F0h_K2/M?S=lfrfog0lfp0

日本語同時
通訳つき

参加登録



プログラム

時間帯	発表者	内容	
13:10 -13:20	小林潔司 JAAM会長 (京都大学名誉教授 (同経営管理大学院特任教授))	開会挨拶	
13:20 -13:35	Mr. Thomas Goodyer (英国) ISO/TC251 委員長	ISO/TC251のこれから ～デジタル、インタンジブル、サステナブル～ アセットマネジメントの国際規格(ISO55000シリーズ)の開発と運用を行ってきたISO/TC251の今後の方向性について、「デジタル」「インタンジブル」「サステナブル」の3つをキーワードに解説する。	
13:35 -14:00	Mr. John Hardwick (オーストラリア) Executive Director – Prioritization and Asset Management Transport for NSW	The journey to Asset Management maturity within a large government transport agency (大規模な政府交通機関におけるアセットマネジメントの成熟度の取組) ニューサウスウェールズ州交通局での経験に基づき、大規模な政府交通機関におけるアセットマネジメントの成熟度向上に向けた実践的かつ実証に基づく取り組みを解説する。設計、建設、維持管理の統合的なアセットマネジメントシステムに移行するために必要な組織のステップ、力量の転換、文化の変化などを含め、ISO 55001の認証がその変革を加速させた経緯を説明する。	
14:05 -14:30	Mr. Hjalmar Boon (オランダ) Principal Advisor Asset Management Rijkswaterstaat, Ministry of Infrastructure and Water Management	Rijkswaterstaat's Asset Management Journey (Rijkswaterstaat(RWS)におけるアセットマネジメントの取組) Rijkswaterstaat(RWS)は、オランダ公共事業・水管理省の業務実施機関である。国内の道路・水路・水道システムネットワークにおいて、ISO 55001に準拠したアセットマネジメントの実現を目指している。RWSは、予算制約、老朽化したアセットの改修・更新需要の拡大、気候変動対策、持続可能性の実現、請負業者の力量不足、交通混乱に対する市民の受容性低下といった課題に直面しており、アセットマネジメントの実現がこれらの課題解決にどのように寄与するかについて解説する。	
14:30 -15:00		休憩	
15:00 -15:25	Ms. Claire Gowson (英国) Director and Professional Head of Discipline for Transportation Asset Management Atkins Réalis Technical	Seeing the Unseen: Tackling the Hidden Challenges of the UK's Underground Infrastructure(「見えないものを見る:英国の地下インフラが抱える隠れた課題への取り組み」) 英国では約400万kmに及ぶ地下の配管やケーブルが管理されており、年間6万件の誤掘事故の発生により、安全上のリスクや遅延、経済的な混乱が生じている。老朽化したインフラの保有者は、断片化した記録、データ形式の不統一、計画や維持管理に必要な情報へのアクセス遅延といった根深い問題を抱えている。道路、水道、電力、通信等のセクター固有の課題とともに、地下情報の近代化に向けた取組みと今後の展望について解説する。	
15:30 -15:55	Er. Kang Seng Seow (シンガポール) Chairman of NMWG on Asset Management Singapore Standards Council	Digitizing Assets for Enhanced Decision-Making: Shaping a Sustainable Future in Singapore (アセットのデジタル化による意思決定の強化:ンガポールの持続可能な未来の構築) デジタル化、持続可能性、無形資産の価値の統合を通じたシンガポールにおけるアセットマネジメントの変革を深堀する。物的アセットとデータアセットのデジタル化が、陸上輸送・電力・製造・建築分野における持続可能なアセットパフォーマンスの向上・効率化、気候変動・オペレーションリスクの軽減のために意思決定をいかに強化するか、次世代のアセットマネジメントがシンガポール・グリーン計画2030とどう連携し、革新的でレジリエントなネットゼロ未来を推進するかについて事例を解説する。	
16:00 -16:25	Dr. Gao Ang (中国) Associate professor China National Institute of Standardization	Data Asset Management Policy and Practice in China (中国におけるデータアセットマネジメントの政策と実践) デジタル経済において、アセット集約型の組織は膨大な量のデータを保有しており、これらは価値創造の源泉ともなっている。データアセットマネジメントに関する中国の政策、データアセット集約型企业におけるアセットマネジメントシステムの適用可能性について共有し、将来のデータアセットマネジメント産業の潜在的な動向について解説する。	
16:30 -16:55	水谷 哲也 (日本) 仙台市建設局次長	How Asset Management Supports Japan's Changing Infrastructure Environment (日本のインフラがおかれた環境の変化に対するアセットマネジメントの貢献) 日本においては、道路・公園・上下水道など多くのアセットは基礎自治体が管理しているが、少子高齢化等により技術職員の確保が困難になってきており、維持管理の外部化や広域化・共同化が急速に進んでいる。これらの変化に対してアセットマネジメントがどのように貢献するかについて、デジタル・インタンジブル・サステナブルの観点を踏まえ、日本国内における最新の事例を交えて解説する。	
16:55 -17:00	藤木 修 JAAM 理事 (京都大学経営管理大学院客員教授)	閉会挨拶	

司会進行 : 竹末直樹(JAAM理事, ISO/TC251国内審議委員会委員長)



ISO/TC251全体会議の京都開催を
応援してくださっている団体・企業



本事業は、宿泊税を財源とした、京都市および公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローの助成金を活用し実施しています。



MRI 三菱総合研究所

JIPM 公益社団法人
日本プラントメンテナンス協会

